

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA）		
ナンバリングコード	E21201	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年／開講期	2 年／前期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002433	クラス名	小久保ゼミ
担当教員名	小久保 雄介		
履修上の注意、 履修条件	商品企画の現場では、自ら高いアンテナを張り、様々なことに対して興味を持って取り組む姿勢が必要になります。受け身にならず、ぜひ自分から考え、行動するようにしてください。 また、授業内で分析を行ったりまとめ作業などを行いますのでPCを準備しておいてください。 チームで活動しますので、チームのメンバーでコミュニケーションをしっかりと取り一丸となってプロジェクトを楽しみながら進め、学生らしい企画を行うこと。他人と協調できない方は適しません。		
教科書	指定はしません。毎回資料を配布します。		
参考文献及び指定図書			
関連科目	マーケティング論、統計学、社会調査法		

○基本情報		
授業の目的	ゼミナール2Aでは2Bで商品企画プロジェクトを実施するための基礎力をつけていきます。内容は大きく分けてデータを分析する力と分かったことを表現する力をつけてもらいます。ゼミではグループを作り、グループ内で教え合いながら毎回の課題を実施していきます。	
授業の概要	授業は講義を行いながら実際にPC操作をしてもらいます。積極的にメモを取るなどの行動をしましょう。授業で学んだことを実際に授業中に手を動かしてもらいます。その後課題として更に演習してもらうことで定着を図ります。更に半期を通しての授業で学んだことを活かして最終回に発表をしてもらいます。 (ただし、コロナの感染状況によりカリキュラム、実施方法などを変えて実施することもあります。)	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	商品企画についての興味、関心をもち、積極的に授業に参加する。また、チームでの活動がしっかりできる。		20点	
【知識・理解】	企画書、プレゼン、データ分析などを行うための基礎知識が身についている。	20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	チームでプレゼンテーションを作成し、発表することができる。その際にデータなどを活用して論理的なプレゼンを行うことができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	データを分析して新しい提案ができるようになる。		30点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
関心・意欲・態度…出席＋毎週の授業で提出するコメントペーパー(15点)とチームでのコミュニケーション(5点) 知識・理解…半期の内容を確認するための簡単な試験(20点)と授業の際に課す復習用課題(10点) 技能・表現・コミュニケーション…半期の中で何回か実施する発表(10点)とその成果物(10点) 思考・判断・創造…最終回のプレゼンでの提案がデータに基づいて出来ているか？面白いのか？(40点) 以上の観点から評価を実施する。 なお、課題やレポートについては返却時にフィードバックを実施する。評価の方法については授業内で基準を提示する。	

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 小久保 雄介	授業コード E002433
学修内容			
1. オリエンテーション ゼミメンバーの顔合わせを行った後に、ゼミナールとは何か、小久保ゼミで学べることは何かを説明する。			
予習	自己紹介の内容を考える（2～3分程度）。		（約2.0h）
復習	自己紹介シートの作成。		（約2.0h）
2. チームビルディング これから半期間組むチームでいくつかの課題をこなしながら親交を深めます。			
予習	前期のチームメンバーについてコミュニケーションをとっておく。		（約2.0h）
復習	他のゼミ生とのコミュニケーションを取る		（約2.0h）
3. PCの仕組みについて 情報の授業の復習＋アルファになりますが、PCの基本について復習をします。その後ゼミ内で使うSNSの使用方法やメールの文章の作成方法、ファイルの共有方法などについて今後のゼミの活動の基本となる部分を学習します。			
予習	事前に資料を読み込んでおく。		（約1.0h）
復習	メールの作成方法を復習し、課題を実施する。		（約3.0h）
4. Wordの扱い方① レポート・論文作成に必須のMicrosoft Wordの使用方法について学習します。第1回目はレポートの書式、体裁の整え方について実際に演習を行います。			
予習	Microsoft officeのインストールができていないか確認する。インストールされていない場合は事前に行う。		（約2.0h）
復習	授業中に与えられたテーマについてレポートを作成する準備を行う。		（約2.0h）
5. Wordの扱い方② レポート・論文作成に必須のMicrosoft Wordの使用方法について引き続き学習します。第2回目は様々な要素の挿入方法（表、参考文献、脚注など）、印刷・PDF化について演習を行います。			
予習	事前にテーマに関する資料を集めておく。		（約2.0h）
復習	第4回で与えられたテーマについてレポートを作成する。		（約2.0h）
6. Wordの扱い方③ レポート・論文作成に必須のMicrosoft Wordの使用方法について実践演習を行います。ここまでで学習したことをもとに、実際のレポートを作成してもらいます。それらを発表してもらった後に形式面、構成面などで皆さんでコメントをしてもらいながら各々が不足している点について再確認してもらいます。			
予習	ゼミメンバーのレポートを読み、コメントを考える。		（約2.0h）
復習	授業でフィードバックを受けたレポートを修正する。		（約2.0h）
7. プレゼンテーションとは、Power pointの扱い方① プレゼンテーションとは何か？MicrosoftPowerpointの使用方法について学習します。第1回目はプレゼンテーションとは何か？プレゼンテーションを作成するためのフロー（アウトラインの活用の仕方など）について実習を行います。			
予習	前回作成したレポートをプレゼンテーションにするにはどのようにしたら良いか考える。		（約2.0h）
復習	第6回で作成したレポートをアウトラインにする。		（約2.0h）
8. Power pointの扱い方② 論文の発表などに用いるMicrosoftPowerpointの活用方法について更に学習します。スライド作成の各種技法について実習を行います。			
予習	アウトラインを作成したプレゼンテーションをどのようなデザインにするか考える。		（約2.0h）
復習	第7回の授業で作成したプレゼンテーションのアウトラインをプレゼンテーションに仕上げる。		（約2.0h）

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡA（SeminarⅡA） 小久保 雄介	授業コード E002433
学修内容			
9. Excelとデータ分析:データの分類、グラフ化 データの集計、分析に必須であるMicrosoftExcelについて学習します。Excelの基本とアンケートなどで集められるデータの種類について講義を行った後にグラフの作成方法について実習を行います。			
予習	事前に資料を読み込んでおく。		(約2.0h)
復習	復習課題を実施する。事前配布データをもとに自分たちで分析を実施する。		(約2.0h)
10. Excelとデータ分析:集計の方法 データの集計、分析に必須であるMicrosoftExcelについて引き続き学習します。データのカウンタを行うクロス集計や簡単な関数の使い方について実習を行います。			
予習	事前に資料を読み込んでおく。		(約2.0h)
復習	復習課題を実施する。事前配布データをもとに自分たちで分析を実施する。		(約2.0h)
11. Excelとデータ分析:度数分布表、ヒストグラム データの集計、分析に必須であるMicrosoftExcelについて引き続き学習します。連続量のデータを集計する方法である度数分布表、ヒストグラムの作成、読み取り、標準化についての講義と実習を行います。			
予習	事前に資料を読み込んでおく。		(約2.0h)
復習	復習課題を実施する。事前配布データをもとに自分たちで分析を実施する。		(約2.0h)
12. Excelとデータ分析:データの特性(平均とばらつき) データの集計、分析に必須であるMicrosoftExcelについて引き続き学習します。連続量のデータについての傾向を見るための指標について講義を行った後に計算の行い方を実習で行います。			
予習	事前に資料を読み込んでおく。		(約2.0h)
復習	復習課題を実施する。事前配布データをもとに自分たちで分析を実施する。		(約2.0h)
13. Excelとデータ分析:散布図と相関、回帰分析① データの集計、分析に必須であるMicrosoftExcelについて引き続き学習します。今までは一つの変数に注目して分析を行いましたが、2変数についての学習を行います。まずは2つの変数の関係性を把握するために相関と散布図について、予測モデルについての講義を行った後にExcelを用いて実習を行います。			
予習	事前に資料を読み込んでおく。		(約2.0h)
復習	復習課題を実施する。事前配布データをもとに自分たちで分析を実施する。		(約2.0h)
14. Excelとデータ分析:回帰分析② データの集計、分析に必須であるMicrosoftExcelについて引き続き学習します。先週に引き続き予測モデル(重回帰分析)についての講義を行った後にExcelを用いて実習を行います。			
予習	事前に資料を読み込んでおく。		(約1.0h)
復習	復習課題を実施する。事前配布データをもとに自分たちで分析を実施する。		(約4.0h)
15. ここまでの学習のまとめ 事前に分析してもらったデータを発表してもらいます。レジュメ、プレゼン、分析を通して前期に学習した内容を披露してもらいます。 発表後は各々からコメントをしてもらい夏休みに修正をもらいます。			
予習	発表の準備を実施する。		(約3.0h)
復習	コメントをもとに発表、レジュメ、分析を修正して提出する。		(約2.0h)
16.			
予習			
復習			